



58

## 小笠原で生まれる国内初のカカオ栽培

金丸弘美

食総合プロデューサー

世界自然遺産となっている小笠原諸島。東京

都にあるのに亜熱帯。東京竹芝桟橋から「おがさわら丸」で1千キロメートルの航路を24時間。2016年に船があたらしくなった。部屋も広くなり、快適になった。航海時間も1時間半早くなった。とはいえ、なかなか船に馴れず、ほとんど寝台で寝ていた。小笠原にたどり着くと別世界だ。

小笠原諸島に行くのは今回が3度目。呼ばれたきっかけは、亜熱帯の鹿児島県奄美諸島・徳之島に家族が9年間暮らしたことからだった。徳之島で島を巡るツアー、沖縄・徳之島連携で、長寿調査をもとにシンポジウムのアドバイス、さらにエッセイと写真・イラスト入りの『ゆらしい島のストーリーライフ』（学研）出したり、そこからテレビドキュメントやラジオ放送が生まれたりした、そんな経験がかわれたことだった。そしてなにより、島には、地元の人にとってはなげない空も海も風景も、外から来たものからは、どれもが魅力に満ちていたからだった。

小笠原諸島は同じ亜熱帯でも、奄美とはまた違った景観、自然をもっている。島々が個性的。どれひとつ同じでない。島が30以上もある。毎回行くたびに新しい発見、出会いがあつて、知らないことばかり。興味は尽きない。人が生活し住んでいるのは、父島、母島。それに自衛隊の基地が

ある硫黄島がある。

父島で初めて宿泊したB&B（朝食・ベッド付きの欧米スタイル）「パット・イン」の素敵な空間。魅力的な新潟から移住した女性ガイドによるウミガメの産卵地南島巡り、夕陽の沈む瞬間、夜のコムモリたち、夜空の星の観察、魚をたつぷり使った料理、小笠原のラム酒などなど、次々に溢れるように素敵なのが現れる。

なかでも今回、人柄と作物が最高にユニークで、もつとも印象に残ったのが、母島の折田農園・折田一夫さんだった。短い頭髪で無精ひげ、白い肌シャツ、作業ズボンというスタイル。それがさまになっている。

母島は、父島から、さらに船で2時間かかる。



カカオの実を手にする折田さん



「東京行くと風邪ひいちやうの」  
 「絶対危惧種みたいですね」と言ったら、同行していた役場の方たちからどつと笑い声があがった。  
 それでもインドネシア・ジャワに行つて、カカオ栽培を学んだのだという。実つたカカオは、箱に入れて発酵させ、そこからすりつぶしパ

ウダーにしてチョコレートが生まれるのだという。折田さんが、カカオの樹にいくつか取り残した実を採つてくれた。実は花が咲いてから半年ほどかかるという。南瓜なぐらを細くした感じの果実。中を割つてみると、大きな粒々の種が、羽毛のようにくるまれてみっちり入っている。  
 「食べてみなよ」と折田さん。  
 「このままいいの？」  
 食べてみると、少し甘い。ほんのり、カカオの香りがする。種までかじると、少し、苦みもある。ほろ苦い、まぎれもないチョコの味わい。  
 「試作でチョコレートができた。他のと比べたら、高評価だったつてさ」と折田さんが、とてもいい笑顔になった。  
 折田さん、実は、カカオもさることながら、無農薬のレモン栽培を中心に農業を営んでいる。カカオ畑からさらに行くと、レモン畑が広がっていた。このレモン、八丈島から持ち込まれたもので、もともとは観賞用のものだった。ルーツはサイパンだという。普通のレモンよりも一回り大きい。「広島でもレモンが有名だけど、その苗で栽培したら絶滅した。ところが、八丈島からのものは、無農薬でもうまくいった。なぜ農薬かけないかつて？ 俺、農薬嫌いだから。役所も嫌い」  
 役場の方たちから、またどつと笑いが出た。「虫の幼虫がついて心配したけど、上手に実は避けてくれた。レモンには影響ないつてことがわかったの。最近、静岡の柑橘かんきつの研究所が調べたら、このレモン、新種だつてさ。八丈島からもつてきた人の名前とつて『きくちレモン』つてなっている」  
 レモン栽培の技量と、折田さんのチャレンジ力あつての、カカオ栽培依頼であるとなつた。国産レモンの無農薬は数少ないとあつて、引く手あまたで、直接出荷されているのだという。

小笠原村の方に、「カカオ栽培を始めたところがあるの、観に行きましよう」と案内されたのが、ちよつと森のなかの、斜面にある雨よけのハウス。そこでカカオ栽培をするのが折田さんだった。東京都台東区・平塚製菓からもちかけられて2011年に国内初のカカオ栽培が始まつたという。500本のカカオが植わっている。  
 「カカオ栽培をしたいという話があつて、そんなことやれるのは折田さんしかないつて言われてよ。引き受けたのよ」と折田さん。親の代は、サトウキビ栽培をしていたという。今は、無農薬レモン500本とマンゴー栽培60本を中心に農業を営んでいる。  
 「次男とやつているけど、普段、あんまり、人と話す機会ないから、今日は、しゃべっちゃうぞ」と、出だしから笑わせてくれる。しかも、まじめ顔です。すでに試作品のチョコレートが生まれて好評なのだという。  
 「カカオなんてやつたことないからよう、見様見真似だよ。平塚製菓の社長がベトナムに行こうつて。嫌だよと言つたのよ」  
 「ベトナムも亜熱帯ですよ」  
 「東京行くと風邪ひいちやうの」